



さんびょう 三錨Ⅶ

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 21

平成 30 年 12 月 21 日

早いもので、今年も残すところ、今日を入れてあと十日となりました。今年の漢字は「災」だそう。全国的には地震や台風、また洪水などで大変な被害の出た年でした。でも、学校の方は、幸い大過もなく過ごせました。特に2学期は、たくさんの行事や活動を通して、実りが多い年になったなと感じています。これも、保護者の皆様をはじめ、地域や学校関係者の皆様の、日頃からの温かいご理解・ご支援のお陰と、感謝申し上げます。

さて明日からは、子ども達も楽しみにしている冬休み。健康と安全には気を付けて、思い出深い有意義な冬休みとなることを願っています。お揃いでよいお年をお迎えください。



◇学校保健委員会



体幹マン登場！

12月13日(木)の6限目、講堂にて学校保健委員会がありました。4・5・6年生児童が参加。いつもお世話になっている、学校医の渡辺先生、学校歯科医の寺本先生、学校薬剤師の相松先生にもお越しいただきました。

今年のテーマは、「体幹を鍛えて SNT!!」SNTとは、「シャキッとナイスなトミスハラっ子」の略です。体幹とは何か、なぜ鍛えるとよいのか、どうやって鍛えるとよいのかについて学習しました。学習は、この日のために、休み時間も惜しんで準備や練習を重ねてきた保健委員会の児童の発表で進んでいきました。

途中、七色のマントを身に着けた「体幹マン」が登場。体幹を鍛えるポーズの紹介の後、懐かしの西条秀樹の「ヤングマン」の曲に乗せて、「体幹ダンス」のレッスン。みんな、はじめは見よう見まねでしたが、3回目となると、ノリノリで踊っている子も多かったです。最後に、3名の先生から、ご講評とご指導をいただきました。歯並びをよくするためにも姿勢は大事、体幹の強さを図る簡単なチェック法、この体操は、体幹を鍛えるのにとてもいいと思います、などのお話がありました。

学校保健委員会が終わってからも、長い休み時間には、保健委員会の児童が前でリードしながら、職員室の外で「体幹ダンス」が行われています。「継続は力なり」毎日続けて体幹を鍛えましょう。



最後の講評とご指導



20分休みの「体幹ダンス」

◇人権フォーラム

11月30日、富洲原中学校で行われた人権講演会、人権フォーラムに6年生が参加しました。今年是被差別の立場にある人々の思いを熱く語られる、中倉茂樹さんと、障がい乗り越えてプロのマジシャンとして活躍されている森裕生(もりゆうき)さんのお二人のお話です。最初森さんが登場されたときは、みんなが衝撃を受けました。うまく話すことができず、体も膝立ちのまま、ユーモアを交えてマジックを披露する森さん。その姿だけで、大きく心を揺さぶられるものがありました。また中倉さんから、だれの心の中にも人を差別する心があることを認め、はっきりと出し切ってしまうことの大切さを学びました。そして自分と家族が直面した、結婚差別についてもお話がありました。

その後、中倉さん、森さんの講演をうけて、恒例の中学生とのグループ討議を行いました。一つ上の先輩との話し合いは緊張感もあって、なかなかうまく話せないこともありましたが、中学生のリードで、それぞれが熱心にこの日の感想を述べることができました。来年は自分たちがリードしていく番になります。

講演会は短い時間でしたが、改めて自分の心と向きあえる、貴重な時間となりました。



小中学生によるグループ討議

◇ゲストティーチャー

平野 貢さん：11月29日 4年生 社会科

昔の地図や写真を写しながら、「平次郎橋」や「聖武天皇社」などについて、詳しくお話をいただきました。子ども達は、今とは違う運河の様子や、平治郎さんの意外なエピソードの数々を、興味深くメモに取っていました。

宮田佳典さん：12月11日 6年生 人権学習

毎年一輪車の寄贈をいただいている、子どもたちにもおなじみの方です。ここ数年は、6年生の人権学習で、毎年お世話になっています。宮田さんは葬祭業を営まれています。その仕事をする上で、偏見や迷信によるさまざまな差別に遭った経験をお話いただきました。「葬儀屋だから・・・」という理由で馬鹿にされたり、嫌われたり、避けられたりする事の悲しさや、悔しさも切々と語ってくださいました。6年生は、少し前に人権フォーラムを終えてきたばかりなので、宮田さんの伝えたいことは、しっかりと子ども達の胸に届いたことだと思います。



◇熱々でホクホク



12月13日(木)、1年生が校庭の朝礼台の横で、焼イモをしました。当日は、穏やかな快晴で、正に焼イモ日和でした。保護者ボランティアを募ったところ、この日8名の方が来校。ボランティアの方は、朝9時から火をおこして、子ども達がイモを持ってくるのを待っていただきました。その間に、子ども達は教室でイモの準備。よく洗ってから、濡れ新聞を巻き、最後にアルミホイルで包みました。ちょうどいい火加減になった所へイモを投入。火の守りはボランティアの方にお任せし、子ども達は運動場で学年体育をしながら、焼き上がるのを待ちました。

た。休み時間には、他の学年の子も、火の暖かさに誘われて寄ってきました。

そして、いよいよイモが焼き上がり、包丁で二つに切ってもらおうと、見るからにおいしそうです。実際食べてみると、想像以上の甘さでした。みんな火の回りに腰かけて、熱々ホクホクの焼イモを、おいしそうに頬張っていました。2学期の最後に、楽しい思い出がまた一つ増えました。ボランティアの皆さんには本当にお世話になりました。終わった後で、「お世話になりました。」とお礼を言うと、「こちらこそ楽しかったです。」と言っていただきました。「学校も助かる 保護者も楽しい」こんな Win-win の関係が、今後も広がっていくと素敵だなと思います。ありがとうございました。



◇冬休みの休校について

冬休みのうち、12月29日(土)～1月3日(木)は年末・年始の休校、また12月28日(金)と、1月4日(金)も、市立小中学校一斉の休校日となります。従いまして、学校が開いているのは、12月25日(火)～27日(木)と、1月7日(月)の4日間で、時間は8:25～16:55となります。また、ご連絡いただく際は、365-4309(富洲原小)までお願いします。

◇冬休みの生活について

各学級でも学年に応じた指導をしましたが、下記の事項を参考に、健康と安全に気を付け、有意義な冬休みにしてください。



- | | |
|------------|---------------------------------|
| □ 交通事故に注意 | (自転車に乗る際はヘルメットの着用、暗くなったらライトの点灯) |
| □ 不審者に注意 | (一人で出歩かない。暗くなるまでに帰る。危ないときは大きな声) |
| □ 外出の際は | (「だれと、どこへ、何をしに、いつ帰る」を告げてから外出) |
| □ お金の使い方 | (むだづかいや、お金の貸し借り、大金を所持しての行動はしない) |
| □ 生活リズム | (始業式の前に、冬休みで乱れがちな生活リズムを戻す) |
| □ 家族の一員として | (学年に応じて、自分の役割・仕事で役立つ体験を) |